

お取引様 各位

お客様アンケートご報告

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度はご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。

5月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、ご意見の一部をご紹介します。

■ご意見①■

「定期的な駆除が必要かと思うのですが。」

こちらは新規施工に入りまして一ヶ月点検(効果測定)前のお客様よりご意見いただきました。弊社のメインに使用しているFCCコーキング剤は、一年間の効力があります。噴霧や散布に使用する薬剤は効果が継続しない為、什器奥に潜むゴキブリまではなかなか一度の作業では根絶が難しいです。

しかし、FCCコーキング剤はその長い効力により、施工後も長くゴキブリ駆除効果があります。さらに、弊社の施工員はゴキブリの潜みやすい箇所や通り道を熟知しておりますので、店内の適切な箇所に細かく施工します。今回ご意見いただいたお客様にも弊社の駆除方法を改めて、ご説明させていただきご理解いただきました。もちろん、その他ご不安な点がありましたら、年間保守契約でございますので、お気軽にお申し付け下さいませ。

■ご意見②■

「施工スタッフの方の対応が気持ちよくて良いです。しかし、まだ効果は満足とはいえないです。あらゆる面から指摘もお願いしたいです。」

申し訳ありません。弊社としてもお客様に満足いただける様、最大限の対応を只今させていただいております。ゴキブリの根絶には薬剤の効果だけでなく、日頃の衛生環境の維持も大切です。

弊社も点検に伺った際に気になる箇所は率直にお伝えさせていただき、ともに良い環境を築き上げていければと考えております。よろしくお祈りいたします。

■ご意見③■

「掃除等でコーキング剤が取れてしまった場合はどうすればいいですか・・・。」

弊社のコーキング剤はゴキブリの習性に基づいて様々な箇所に細かく施工しております。その際に施工した箇所の材質や塗布具合によって、取れてしまう事も稀にあります。

弊社としましては、今後より取れにくい様にコーキング剤の質、施工技術の向上に努めてまいります。また、多少取れてしまう事も配慮して、細かく補える様に施工しておりますので、ご安心ください。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。ご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介しますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用下さいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外ではご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News

2016年6月号 No.146



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(102)

生活の豆知識

FCC電話紹介

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

☀ 内々定(笑) ☀

昨日、一昨日で久々に伊豆へ旅行に行きました。5時過ぎに出て、まずは白浜でサーフィンです。何年振りかな？

浜が広いので、空いているところでやればストレスが無いし、水は綺麗だし、なかなかいい波でした。天気も晴れで、海岸線をイーグルス♪聴きながら爪木崎へ。伊豆に住んでいた事もあるのに、実は初爪木崎です。



本当に綺麗。水はエメラルドグリーン。海岸まで車で下りていけます。お子様連れなら磯遊びに最適です。芝生でお弁当もいいかも♪しかもGWなのにガラ空きです。穴場ですよ。



この辺りで2時間まったりしてました。灯台までリーフと散歩も。でも15歳の爺ちゃんなので、坂道は抱っこです。



宿泊はここです。実は社員旅行の下見も兼ねて行きました。



部屋からはこんな景色が広がっています。社員のみなさん如何ですか。で、私的な難点は食事の量がもの凄いいこと。社員のみなさん如何ですか♪



わんちゃんと泊まれる離れには、露天風呂が付いています。もお～最高に気持ち良くて、4回も入っちゃいましたよ。

このホテルの接客も勉強になります。私はここで内々定ですが…(笑)

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCC社員コラム

タクソープログ



🎀 新空手大会に向けて 🎀

昨年に続き今年も

11月に新空手の大会に出場します。

今年で4度目になります。

正直、今年の出場はどうかと考えていたところがありました。

ただ、先日の勇気ある社長の試合を見させて頂いて感化されました。

あんな興奮して感動する試合を見させて頂いたからには出ない訳にはいきません。

去年の今頃は、大会がまだ先だからといって怠けていた自分がいました。

社長の試合後は、やはり未だに燃えるものがあり週末はジムへ、平日もトレーニングが欠かせなくなりました。

また、今までそこまで食事に気を使うことはあまりありませんでしたが自分の身体を作る食事にも気を使うようになりました。

まずは、基礎体力から鍛え、そして体幹を強していきます。

今年のトーナメントは、1試合でも多く試合が出来るよう努力していきます!

今から、楽しみです!!

厄介なのは、「混入異物」の虫事情だ。

今、暦の上での呼称は、別称で「いろいろづき（五色月）」と伝うそうだ。

この五月は、なんとなく「生き生き」していて、人の生活の場に活気が、漲るようだ。また、山野にも生きものの活動が、目立つと来た。今、わが家の庭には、雑草の「ドクダミ」が、白い花をつけ繁茂している。

この雑草は、その昔、「はれもの」や虫刺されの薬や「かい虫」の駆除や利尿剤にも利用されていた。

それに、眼の前を中型のチョウ、「クロタイマイ」が、翔んでいる。どこに、幼虫の雑草があるのか、定かでは無いが、自然環境が残って居るのだろう。

もう、「風土病」などと伝う言葉は、生活の場に登場しないが、人の野外活動が増えるのと小動物由来の病気が、話題になる。それと共に増えるのが、虫クレームだ。その周辺事情を考えてみよう。

今日、人は、「虫」を混入異物の悪者として、「槍玉」に上げているが、本当に、これで良いのだろうか。

だが、食品類に「虫」が混入していても良いと肯定している訳では無い。少し、心配なのは、何故、何時までも同じ事が、繰り返して起り、一瞬の話で終るだけで、虫に対する認識の変わりなさである。

こんな、現状の改善には、何が必要なのだろうか、それは、生活の場で、「異物混入」が話題性を持つようになった背景を考える事だろう。

「虫」の異物混入が、今日的状況に至った原由は、今から少し前の時代、日常生活の場での「生活の質」の向上が、求められる風潮の芽生える中で、顕在化した事象と伝える。

従って、これには、何か切っ掛けがあるはずだ。では、何なのだろうか、振り返ってみよう。なお、此のことは、今、気付いたが、この事象を醸成させた母体は、どうも「生協（日本生活協同組合連合会）」の活動ではないかと考えられる。

それは、「生協」の活動の精神的背景が、会員へのサービス向上にあって、その姿勢が大きく関与すると思えるからだ。

「生協」は、会員（消費者）に安全、安心のサービス提供をモットー(motto)とする中で、商品への混入異物対策にも真剣に取り組んだ。

そんな、商品クレームの中で、実害は無いものの不満が目立って多かったのが、食品類への「虫」の混入事例であった。

生協は、この結果を重視し、直に、これを改善すべき課題に取り上げた。その行動は、迅速で、現場の実情を調査し、再発防止に着手した。

当時は、商品に「虫」が混入していても「たかが虫」の時代であって、メーカーや販売店などでは、虫の混入や付着など殆んど問題に仕なかつた。

周囲が、こんな状況の時代だけに、「生協」のこの取り組みは、印象的であり、異物の虫対応では業界の先駆者的な存在であった。

一般では、些細なことであっても、生協は消費者のためには、水面下にある不具合も表面に出し、それを改善に努めた。

この努力が、今日の食品類製造及び取り扱い関連施設の「防そ・防虫」の普遍化に大きく寄与した。

その具体的な行動は、今から約19年前に「異物混入防止のための整理整頓の徹底のお願い」と云う文書に関連取引先に発した。

これは、「清掃」の大切さを「顧客」から発信した貴重なものである。また、「虫退治」の原点を示したものである。

この関連文書の中に、「防虫・防そ対策に関するチェックポイント」なるものがある。

この冒頭に、「衛生環境の管理主体はあくまでも製造メーカー自身にある」と基本原則にあると明確にして、経営者の注意を喚起した。

これは、今日では、当然の事ではあるが、当時は、これが必要な状況であった。また製造現場での問題点として、次の項目をあげている。

- ※窓が開けっぱなし
- ※出入口が開けっぱなし
- ※シャッターが開けっぱなし
- ※シャッターが閉まっても隙間だらけ
- ※防虫網戸が不備

以上のような問題点を始めとし、数十項目のチェックポイントを明示し、対策を進めた。

この成果は、顕著で「虫クレーム」は激減した。しかし、製品の量産化が進み、生産工率が問われる状況が、管理のバランス崩した。

最近の「虫クレーム」は、件数は減少したが、内容と云い、対応も「消費者」目線から乖離している。

また、問題の現場を観察すると、施設の構造は表面的には整っているが、生協の示した「チェックポイント」の管理が出来ていない所が多い。

ことに「人」の監視の眼が確りと行き届いていない。

何か形骸化している。「防そ・防虫」は、何故、誰のためにするのか、2001年の時代に、立ち返って考える必要がある。

大切な事は、商品クレームの原因は、「人」や「人」の管理に問題がある事を再認識する事である。

防虫清掃は、「人」が実行する事なので、その人がマスターすべき大切な事項がある。それは、危害要因を明確にする能力である。

この能力は、教育・訓練によって培うしかない。また、各メーカーには、「品質管理室」はあるが、それに微生物関連検査の専門部門は在っても、「ムシ対策」や「清掃」に関わる部門が無い。

これらを可視的なので、粗し易い相手と思って、自前の専門技術者を抱える程の問題認識に至っていないのかもしれない。

今、宇宙ですら「清掃」が云われる時代である。

生活の豆知識

食中毒について

先日のニュースで、熊本の避難所で起こった集団食中毒は黄色ブドウ球菌によるものだと発表されました。

そこで今回は食中毒について知識を深めたいと思います。

まず、食中毒とは食中毒の原因となる細菌やウイルスが付着した食品、もしくは有毒・有害な物質が含まれる食品を食べることによって起こる健康被害のことを指します。

多くの場合、頭痛・発熱のほか嘔吐・腹痛・下痢などの胃腸炎症状を起こします。まれに腎臓障害や呼吸麻痺等を起こし、最悪の場合は死亡するケースもあります。

風邪の症状と似ているため、放置をしてしまうケースも少なくないようです。

また食中毒は4種類に分類されます。それらは細菌性食中毒、ウイルス性食中毒、化学的物質による食中毒、自然毒による食中毒です。

今回発生した集団食中毒は黄色ブドウ球菌によるものなので細菌性中毒に当てはまります。

細菌性食中毒は5月から9月に最も多く発生し、大きく感染型と毒素型に分類されます。

感染型とは、食品中で一定菌数以上に増殖した細菌を食品と共に摂食し、胃酸のバリアーを通過して、腸管の表面に定着し感染して食中毒を起こします。

一方で、毒素型とは、食品中で細菌増殖する際に産生した毒素を食品と共に摂取することで食中毒を起こします。

黄色ブドウ球菌は毒素型で、加熱殺菌・低温保存等により食物上での繁殖を防ぐことが重要となります。

日本は衛生管理の整った国です。細菌性食中毒の発生は徐々に減ってはいますが、まだ発生があるのは事実です。

これから暑くなる、5月から9月にかけては十分に気をつけて食品管理を行いましょう。また少しでも体調の異変に気がついたときは早めに医師に相談しましょう。



お金の雑菌は食中毒も！？

皆様は、お札や小銭を触った後に手を洗っていますか？

子どものころから「お金は汚いから、触ったら手を洗いなさい」と言われてきた人は多いと思います。

その「汚さ」は実際どれくらいなのでしょう？

あるセンターが実施した調査では、現金に多くの汚染細菌が付いていることが分かったそうです。中には、食中毒菌の一種「セレウス菌」が付着していたお札もあったという衝撃的な事実も明らかになりました！

生活に欠かせない「お金」が、私たちの健康に害を及ぼす可能性があるそうです。調査した10枚の千円札のうち、なんと2枚からセレウス菌が検出されたそうです。

セレウス菌とは、厚生労働省がサルモネラ菌などと共に、「食中毒」の病因物質に指定している細菌です。特にセレウス菌は抵抗性の強い菌で、熱に強く、100℃の熱湯で30分間加熱しても死にません。

消毒・殺菌剤にも抵抗性があります。食中毒菌というのは食べ物を媒介して感染しますから、特に飲食業に携わる人や食材を売る人、また家で料理をすることが多い方などは、自らが汚染源にならないように注意が必要です。

人間は誰でも菌と共生していて、そういう菌のことを常在菌といいます。しかし、他人が持っている平気な常在菌が、自分にとっても無害だとは限らないということを意識しましょう。

一般の人でも行いやすい対策として、まずひとつは現金を触ったあとに必ず手を洗うことがとても大切です。もう一つの対策は、他人の菌になるべく接触しないことです。

FCC取扱い商品紹介

アデチール5000(食品添加物)
1ケース(3個入り) 9,396円(税込)



スプレーするだけで簡単除菌！

- 食品の品質保持・保存に効果あり！
- 作業中にスプレーして頂く事で簡単に除菌する事が出来ます。
- すすぎは不要なのでお気軽にご利用頂けます。
- 食品添加物ですので、安心してご利用下さい。

【最小発注単位】1ケース

【入り数】3個

【規格】アルコール製剤

【サイズ】1個あたり5リットル

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！

気になった方は

衛生用品.com

検索